



木のまちはつかいち 記念講演
 -江戸・東京に伝わる木材産業の技-
伝統芸能「木場の角乗」の継承

講師 東京木場角乗保存会 福田 淳 様

平成 31 年 3 月 2 日 (土)

10 : 30 開演 (10 : 00 開場)

会場/はつかいち文化ホール さくらびあ 小ホール

定員/300 名 (申込不要) 聴講無料

※駐車場台数に限りがございます。

ご来場の際は公共交通機関を利用させていただきますようお願いします。

主催 広島西部木材同業組合

0829-31-1234

共催 廿日市市/ (公財) 廿日市市芸術文化振興事業団

木場の角乗とは？

・幅 30 センチ、長さ 5 メートルほどの角材の上で、バランスをとりながら、各種の技を披露する伝統芸能。

・江戸時代以降、東京の木材産業の中心地であった「木場」で木材の水上的の輸送・流通に携わってきた「川並 (かわなみ)」と呼ばれる職人集団の腕自慢・余技として発達。

・現在では、「東京木場角乗保存会」の有志が角乗の技を研鑽・保存。

・「東京都無形民俗文化財」に指定。

【会場アクセス】

JR で: JR 山陽本線「宮内串戸」駅から徒歩 15 分

広電宮島線で: 広電宮島線「廿日市市役所前 (平良)」

駅から徒歩 7 分

廿日市市下平良 1-11-1

